

DULCES EXUVIAE

甘美なる贈りもの vol.1



Lute Duo “Dulces Exuviae Zipangu” (ドゥルケース・エクスーウィアエ・ジパング)

ルネ・ジェニス＝フォルジャ & 佐藤亜紀子 (ルネサンスリュートデュオ)

ダウランド没後 400 年記念
リュート・デュオで奏でる
ダウランドの世界

横浜公演

2026 年 3 月 8 日 (日) カトリック山手教会 (横浜市中区山手町 44)

フルコンサート 開演 14:00 / 開場 13:30

東京公演

2026 年 3 月 21 日 (土) 今井館聖書講堂 (東京都文京区本駒込 6-1-15)

ミニコンサート 開演 14:00 / 開場 13:30 ※本公演より抜粋の 30 分のプログラムです。

フルコンサート 開演 16:15 / 開場 15:45

チケット：フルコンサート：一般 4,500 円 ベア券 8,000 円 学生 2,500 円 当日券 5,000 円

ミニコンサート：一般のみ 2,500 円

プログラム

いにしえの涙 *Lachrimae Antiqua*

つねにダウランド、つねに悲しき *Semper Dowland Semper Dolens*

ジョン・ラングトン氏のパヴァン *Mr. John Langton's Pavan*

エセックス伯のガリヤード *The Earle of Essex Galliard*

ダウランド・メドレー *Dowland's Medley* 他

ご予約・お問い合わせ atelierlakko@gmail.com 090-8440-1348 (佐藤)

主催：アトリエ楽古 共催：カトリック山手教会チャリティコンサート委員会 後援：日本リュート協会



ドウルケース・エクスーウィアエ ー甘美なる贈りもの

私が芸大楽理科の学生時代、論文指導をしてくださった音楽学者の片山千佳子先生のご主人、西洋古典文学の研究家の片山英男氏はリュートの愛好家でいらっしゃいました。東大の教授で芸大ではラテン語の授業をされていました。大学生の私に、片山ご夫妻はリュートに関する論文、楽譜、レコードなどはもちろん、英男先生所有のリュートまでも貸してくださいました。リュートで留学したいという私をご夫婦は惜しみなく応援してくださいました。残念なことに英男先生は2023年にご病気で他界されました。奥様は遺された5台のリュートを私に託してくださいました。それらの楽器は修理の必要なものもありましたが、1970～80年代のイギリスで作られた美しい楽器です。

「Dulces Exuviae (甘き残されたもの)」という言葉は、古代ローマ詩人のウェルギリウス『アエネーイス』IV巻に出てくる場面に由来します。カルタゴの女王ダイドーが恋人であったトロイアの英雄エネアスに捨てられ命を断とうとする直前、エネアスの脱ぎ捨てた服などをみて、彼との思い出を振り返りながら発した言葉です。この場面はルネサンス時代、バロック時代の声楽作品の題材としても取り上げられました。古典ギリシャ・ラテン語の専門家であった英男先生から贈られたリュートで、甘美なる音楽を奏でるコンサートシリーズをこれから企画していこうと思います。

ジョン・ダウランド没後400年に寄せて

片山コレクションのリュートから、今回は7コースと8コースの2台で、2026年に没後400年を迎えるジョン・ダウランド(John Dowland 1563-1626)の作品をリュート2重奏で演奏します。ダウランドの作品にはリュート・デュオの作品はわずかしかなかった。ダウランドのヴィオール・コンソートとリュートの合奏曲集「ラクリメ、あるいは七つの涙 Lachryme or seven tears」に所収された曲やダウランドのリュート独奏曲などを元に佐藤とジェニス氏で編曲したものを演奏します。



ルネ・ジェニス＝フォルジャ René Genis-Foulger

アムステルダムのスウェーリンク音楽院でアンソニー・バイルズに師事。1988年に同音楽院の学位を取得。在学中、リュートの特に初期のレパートリーに魅了され、スペイン中世、フランドル音楽、ブルゴーニュ音楽、イギリスのリュート歌曲、フランスのエール・ド・クール等を研究する。ポール・ファン・ヌーヴェル、マリウス・ファン・アルテナ、クロフォード・ヤング、ポール・オデット、フアド・ベニスらの講座やマスタークラスを受講。母国オランダとヨーロッパ各地、日本において数多くの国際古楽フェスティバルでアンサンブル奏者やソリストとして演奏活動、CD録音を行う。アムステルダム音楽院リュート科の講師も勤める。

佐藤亜紀子 Akiko Sato

東京芸術大学音楽学部楽理科卒。ドイツ国立ケルン音楽大学でK. ユングヘーネル氏に、スイスのバーゼル・スコラ・カントーラムでH. スミス氏に師事。ソロ活動のほか、通奏低音奏者として活動。パリ在住の歌手高橋美千子と古楽ユニット「たまひび」の活動を開始しCD「たまひび」をリリース。「アンサンブル・ボエジア・アモローザ」のメンバーで、同アンサンブルで2025年8月にCD「愛の詩～ペトラルカの面影に～」をリリースし、朝日新聞のfor your collectionの推薦盤に選出される。ソロでは「ララバイ、イギリスルネサンス期のリュート音楽」(2014)。「アレツサンドロ・ピッチニーニ・リュートとギター・ローネの為のダブル・リュート曲集」(2023)は朝日新聞のfor your collectionの推薦盤に選ばれる。アイゼナハ音楽院リュート講師。Youtubeチャンネル atelierlakko



カトリック山手教会(横浜市中区山手町44)

JR 石川町駅 南口より徒歩2.0分

みなとみらい線 元町中華街駅 アメリカ山公園口より徒歩15分

JR 桜木町駅から神奈川中央交通バス11系統乗車 山手町バス停下車 徒歩0分